

水原六斎市場によって 生じる交通渋滞

六斎市とは？

- ▶ 室町時代から江戸時代にかけて行われていた経済的活動の一つ
- ▶ 関東・東北の農村地では市の文化がよく残った
- ▶ 月に6回の定期市を開いていたことから六斎市と呼ばれる
- ▶ 月3回の日ぎめ市である三斎市の発展形
- ▶ 物資の供給が進んだ現代でも、コンビニやスーパーマーケットにはない魅力が市にはあり、今でも利用者は多い

六斎市の魅力

- ▶ 値段が安く、品物が新鮮で季節に合わせた旬のものが手に入る
- ▶ 買い物するだけでなく、売り手と買い手とのコミュニケーションを楽しむことができる
- ▶ 昔ながらの市場は風情があり、観光としても楽しめる
- ▶ 値引き交渉なども行えばかなり安く買うことができる

水原六斎市場とは？

- ▶ 私の地元阿賀野市で行われている定期市
- ▶ 越後三大市場の一つ
- ▶ 新潟の露店市場の歴史は長く、開設されたのは今から300年前
- ▶ 毎月、4と8のつく日に地元の方々が露店を自分たちで組み立て、様々な品物を売っている
(食品全般、衣類、日用雑貨、金物など)

水原六斎市の所在

- ▶ 阿賀野市中央町・岡山町地内（天朝山公園西沿道・通称「市場通り」）



水原六斎市の所在

- ▶ 露店数 約60店
- ▶ 市場の長さは約300mほど
- ▶ 時間帯は午前6時から午後3時の間
- ▶ 市場の開催日が土日になると多くの人で混雑することがある



問題点 (仮)

- ▶ 露店が出ることで道路が狭くなり、付近にあるスーパーマーケットへの通路が混雑する
- ▶ 土日祝日は特に混雑する
- ▶ 日によっては交通規制がされている日もある
- ▶ 実際に市場を利用している方の中の多くは自転車で来ており、自転車用の駐車場が小さく、路上駐車 of 自転車が多い



改善案を見つけるためにできること

- ▶ 水原六斎市を管理している阿賀野市の地域経済振興課と連絡を取り、情報収集する
- ▶ 実際に市場を経営している方にインタビューを行う
- ▶ 混雑が起きる原因のスーパーマーケットに、市場がある日とない日でどのような影響があるのか調べる

以上の3つのことを基本に現地調査を行っていききたい